

# 自治体がん検診を活用した女性がん検診受診率向上のためのPFS型共同事業

ヤマトグループ健康保険組合

## ■ 本事業の目的

健保組合による自治体がん検診活用により「将来医療費の適正化」「加入者の健康寿命の延伸」に繋げるためのPFSモデルを構築

## ■ 課題及び本事業の特長

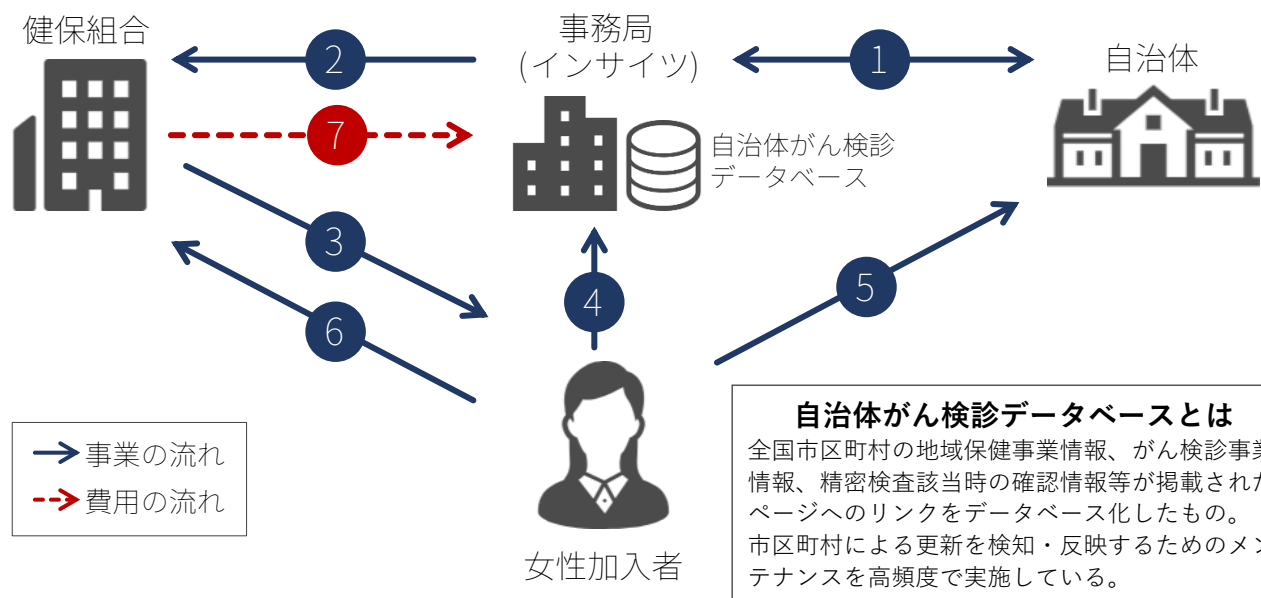
### 課題

加入者のがん検診受診は医療保険者にとって重要課題であり、健保組合は補助等で受診率向上に取り組んでいる。一方で、自治体においても同様のがん検診事業を実施しているが、制度上の分断や情報共有不足により連携が進んでいない。結果として加入者の受診率が限定的になり、未受診による進行がん割合の増加、将来的な医療費増加リスクを内在する健康課題と位置づけられる。

### 本事業における取り組み（特長）

1. 全国の自治体がん検診事業の情報を集約したデータベース「自治体がん検診データベース」の活用により、がん検診受診機会及び選択肢を増加
2. 複数の健保組合と複数の自治体が参加する共同事業
3. 行動変容ステージを進めるための介入設計及び成果指標
4. 国が進めるがん対策の方向性に即した取り組み
5. 加算・減算制度総合評価指標にも対応
6. 補助期間終了後も継続を前提とした事業計画

## ■ 概要図



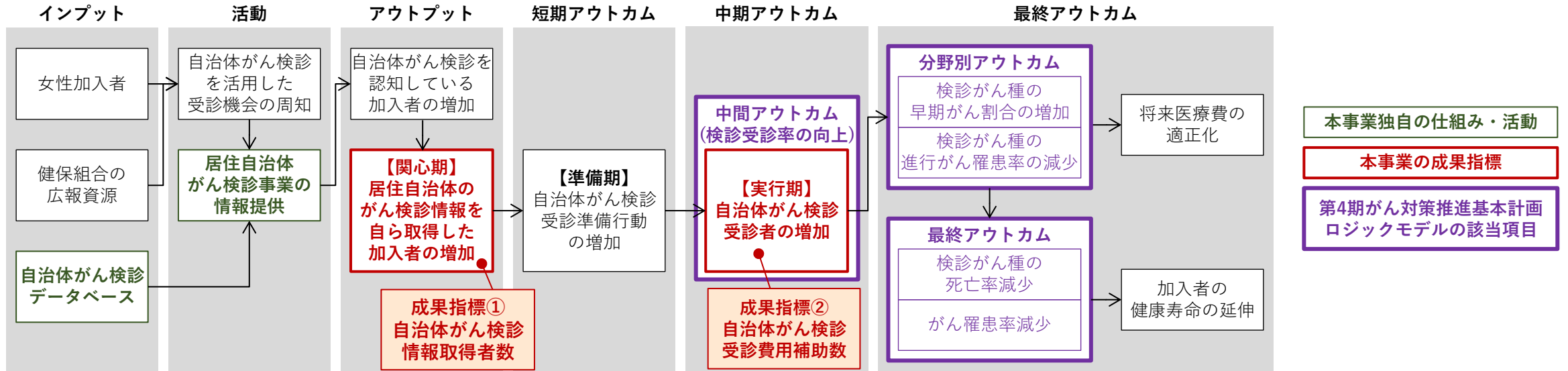
- ① 事務局 ↔ 自治体
  - ② 事務局 ⇒ 健保組合
  - ③ 健保組合 ⇒ 加入者
  - ④ 加入者 ⇒ 事務局
  - ⑤ 加入者 ⇒ 自治体
  - ⑥ 加入者 ⇒ 健保組合
  - ⑦ 健保組合 ⇒ 事務局
- ★PFS事業における成果指標

自治体のがん検診事業情報を収集  
 「自治体がん検診データベース」  
 および周知啓発コンテンツの提供  
 自治体がん検診受診の促し  
 自治体がん検診の情報収集★  
 がん検診受診  
 受診者向け補助の申請★  
**成果連動報酬の支払**

## ■ ロジックモデル

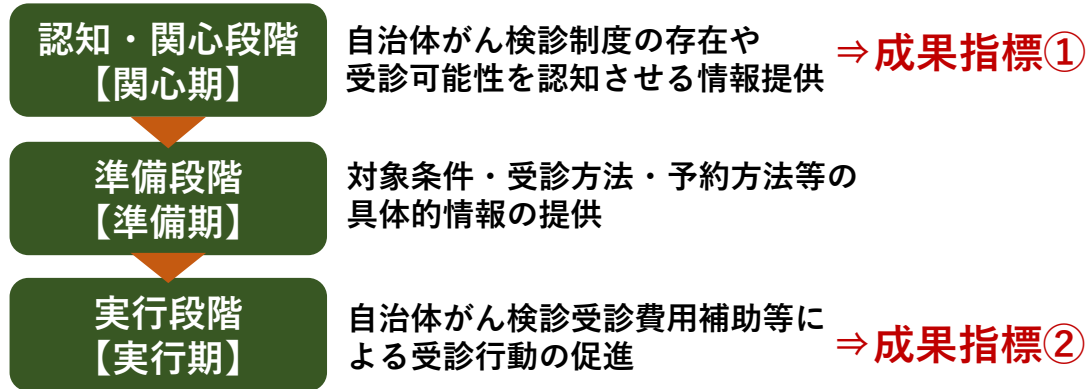
本事業では「がん検診受診」のみを評価するのではなく、受診行動に至るプロセスを可視化することを目的として、行動変容ステージ（関心期⇒準備期⇒実行期）に基づく指標設定を行っている。

また、ロジックモデルにおけるアウトカムは「第4期がん対策推進基本計画」ロジックモデル（2次予防）におけるアウトカム（中間アウトカム、分野別アウトカム、最終アウトカム）と連動しており、本事業で成果を上げることが、国が進めるがん対策の成果に直結していくことになる。



## ■ 成果指標の構造

※行動変容ステージに基づく指標設定



## ■ 共同事業実施体制

- |                |   |
|----------------|---|
| 健康保険組合         | ヤマトグループ健康保険組合（代表組合）<br>A L S O K 健康保険組合<br>石塚硝子健康保険組合<br>ナブテスコグループ健康保険組合<br>兵庫県建築健康保険組合 |
| 第三者評価機関<br>事務局 | 株式会社メリクオ<br>株式会社インサイト   |